

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公表番号】特表2006-522185(P2006-522185A)

【公表日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2006-038

【出願番号】特願2006-504821(P2006-504821)

【国際特許分類】

C 0 8 L 27/06 (2006.01)

C 0 8 K 5/524 (2006.01)

C 0 8 K 5/09 (2006.01)

C 0 7 F 9/141 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 27/06

C 0 8 K 5/524

C 0 8 K 5/09

C 0 7 F 9/141

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月23日(2007.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

請求項8又は9記載の液状安定剤を含むハロゲン化ビニルポリマー組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

本発明に従う液状安定剤は、ハロゲン化ビニルポリマーとブレンドされ得て、それらの熱安定性を改善する。使用され得るところのハロゲン化ビニルポリマーは、繰返し基(-CHX-CH₂-)_nの少なくとも一部分を形成し、かつ40%を超えるハライド含有量を有する任意のポリマーである。この式において、nはポリマー鎖中の単位数であり、かつXはハライドである。好ましくは、該ポリマーは塩化ビニルポリマーである。該ポリマーはまた、塩化ビニルと適切な割合の他の共重合し得るモノマーとのコポリマー、例えば、塩化ビニルと酢酸ビニルとのコポリマー、塩化ビニルとマレイン酸若しくはフマル酸又はこれらのエステルとのコポリマー、及び塩化ビニルとスチレンとのコポリマーであり得る。本発明に従う安定剤組成物はまた、主要な割合のポリ塩化ビニルと少しの割合の他の合成樹脂、例えば、塩素化ポリエチレン又はアクリロニトリル、ブタジエン、及びスチレンのコポリマーとの混合物と一緒に有効である。